

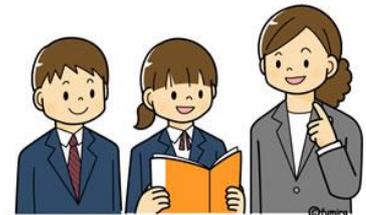
# Route Navigation

## 〈期末テストを終えて教育相談へ〉

期末テストは、納得のいく結果を出すことができたでしょうか。学習計画表を見ると学習時間は確保できていたようですが、それが必ずしも結果に結びつくとは限りません。この時期になって「もっと早くからやっておけばよかった」「勉強不足だった」「提出物が期限までにできなかった」という反省が出てくるようでは困ります。どのような理由があれ、結果を真摯に受け止めてほしいと思います。

さて、期末テストの結果を踏まえ、12月2日（金）～7日（水）まで教育相談を実施します。すでにお知らせしてある通り、この教育相談で私立高校と専修学校の受験校が決定します。その後の個人懇談会では、受験校の確認と願書配布になります。受験校変更で慌てなくてもすむように、家庭でも十分に時間をとって話をしておいてください。

なお、以下のケースも想定されますので、責任をもって受験校決定に臨んでほしいと思います。



- ・合格可能性が低い私立高校ばかりを受験しようとしている。
  - 学校側としては、例年の傾向から1校は押さえとなるような学校の検討を提案します。
- ・公立高校しか受検しない。
  - 不合格になった場合、定時制か通信制になります。例年、このケースが数件あります。

## 《私の進路選択》

第10弾は、理科担当の後藤先生です。

ちょうど10年前、私がみなさんと同じ15歳の頃。みなさんと同じように進路選択に四苦八苦していたかというところ・・・実はそんなことはありませんでした。なぜなら、私は中高一貫校に通っていたからです。つまり、中学校を卒業すれば自然と高校に進学できたんですね。うらやましいと思いませんか？でも、私は高校受験の代わりに中学受験をしていました。いわゆる「お受験」です。小学校の友達みんなが遊んでいる間に、私は家や塾で受験勉強。みんなが持っていたポケットモンスタールビー・

サファイアも遊べない。さらにいえば、5年生の頃から始めていたので、受験期間は2年間です。小学生の頃に方程式や連立方程式を使って問題を解いていたんですよ。今思うと、自分でもよくやったな〜と感心します。つらかった記憶しかありません。何度泣いたことか……。

では、なぜそんな私が実際に2年間もお受験をやれたのか。それは、モチベーションがあったからです。日本語で言うと「やる気」ですね。やる気があったんです。では、そのときのやる気とはなにか。いろいろあったとは思いますが、今でも思い出せるやる気は「小学校にいたイヤなヤツと一緒に中学校に行きたくない」でした。そんな理由で?と思ったそこの君。そんな理由なんです。でも、自分にとってはとても大切なことだったんですね。他人にとっては小さな理由も、当人にとっては大きなやる気であることは多々あります。そして、そのやる気のおかげもあってか、なんとか合格をもらい、その中高一貫校に行くことができました。

さて、勉強を続けるということは、勉強が好きな人以外にとってはとても大変なことです。でもやらなければならない。そんなとき、自分を支えてくれるのが「やる気」になります。なぜその学校に行きたいのか。本当にはっきりとした理由がありますか?周りの評判や公立だから、といった通り一遍の理由で選んでいませんか?もしかしたら、自分が望んだ通りに進路選択がいかなかった人もいると思います。でも、いつまでもいやだなと思いながらでは、やる気が出ず、勉強の効率も上がりません。どんな高校にも必ず良いところ、楽しみな部分があります。だから、パンフレットやホームページ、体験入学などで確認をして、高校生活の想像を膨らませましょう。ただし、重要なのは志望先すべてを想像することです。第一志望だけ、ではだめですよ。すべて想像しましょう。そして、そのイメージをやる気に変換して、つらい受験生活を乗り切りましょう。

自分の将来がどうなるかなんて、誰にもわかりません。少なくとも、高校受験の結果が将来に直結することなんかそれほどありません。私も高校に入学した時には、先生になるとは想像もしていませんでした。つまり、大切なのは決まった進路先でどのように過ごしていくかです。受験の終わりはゴールではありません。新しいスタートです。みなさんが笑顔でスタートを切れるように、私は強く願っています。

